

中村古峽 なかむら こけい

（1874-1953）

小説家、精神科醫、醫學博士。明治十四年二月二十

日奈良県生れ、昭和二十七年九月十四日歿（八二―一九五三）。本名基翁。（いづる）

筆名膽駒古峽。第一高等學校を経て、明治四十年東京帝國大學文科大学

醫學士を卒業。『東京朝日新聞』入社を四十三年退社。爾後心理學研究

に専心。大正六年雜誌『變態心理』創刊、昭和四年千葉市公精神病院

開業。

著譯書 『殻』（大正二年四月十八日春陽堂）、ドストイエフスキイ作

『叔父の夢』（譯、大正三年十月二十三日東亞堂）、ロンブローゾ著

『死後の生命』（譯、大正五年十月二十三日内田老鶴園）、『白話文

自在』（生田長江共編、大正六年二月二十五日二峽社出版部）作又熱

達全書』）、『松島と金華山』（大正六年八月二十一日古峽社）、『憑

靈と憑言者』（加藤智仁著、大正九年五月二十一日明治聖徳記念學

會）、『自殺及情死の研究』（大正十一年六月十五日日本精神醫學會

『日本變態心理叢書』）、『所謂心靈現象の學理的探究』（大正十四

年七月二十日日本精神醫學會）、チェ・ゲー・ユング著『聯想實驗法

其他』（譯、昭和二年一月一日日本精神醫學會）、バーナード・ハー

ト著『狂人の心理』（譯、昭和二年一月一日日本精神醫學會）、『變

態性格者雜考』（昭和二年八月二十一日文藝資料研究會）『變態文獻叢

書』）、『變態心理と犯罪』（昭和五年二月十五日武俠社）『近代犯罪

科學全集』）、『ヒステリーの療法』（昭和七年一

月二十一日主婦之友社）『精神衛生講話』）、『迷信

に陥るまで』一擬似宗教の心理學的批判』（昭和十一



年八月十八日大東出版社）、『流言の解剖』（昭和十七年十一月十日

愛人事業社 等。